

## 第6次八戸市総合計画

# 第5章戦略プロジェクト(素案)

**【留意事項】**

- 各施策の内容を説明している文章の下に、参考として想定される事業を例示していますが、最終的には記載されません。

## 【目次】

<b>戦略1. 人づくり戦略</b>	<b>1</b>
1. 子育て・教育プロジェクト	1
（施策1）結婚・出産の希望をかなえる施策の充実	
（施策2）地域と連携した子育て支援の充実	
（施策3）地域に密着した教育の推進	
2. 女性活躍プロジェクト	3
（施策1）仕事と生活が調和した社会の形成	
（施策2）女性の多様な働き方やキャリア形成への支援	
<b>戦略2. 生業づくり戦略</b>	<b>5</b>
1. 六次産業化プロジェクト	5
（施策1）生産体制の整備	
（施策2）販売力の強化	
2. 企業活性化プロジェクト	7
（施策1）企業誘致の推進	
（施策2）中小企業等の活性化	
（施策3）貿易関連産業の振興	
3. 雇用・起業促進プロジェクト	9
（施策1）雇用・就業の支援	
（施策2）起業の促進	
<b>戦略3. 安心づくり戦略</b>	<b>11</b>
1. 都市防災プロジェクト	11
（施策1）防災・減災対策の強化	
（施策2）自助・共助による防災まちづくりの推進	
2. 健康・福祉プロジェクト	13
（施策1）地域における健康・福祉活動の促進	
（施策2）高度な医療環境の整備	
<b>戦略4. 魅力づくり戦略</b>	<b>15</b>
1. 文化・スポーツプロジェクト	15
（施策1）アートのまちづくりの推進	
（施策2）地域スポーツの振興	
2. 八戸ツーリズムプロジェクト	17
（施策1）観光ブランドの強化	
（施策2）おもてなしの充実	
3. まちのにぎわい交流プロジェクト	19
（施策1）交通ネットワークの充実	
（施策2）中心市街地の活性化	

**戦略5. 自治体経営戦略** \_\_\_\_\_ **21**

- 1. 協働のまちづくりプロジェクト ..... 21
  - (施策1) 協働の仕組みづくりの推進
  - (施策2) 町内会等の振興
  
- 2. 行財政改革プロジェクト ..... 23
  - (施策1) 意識改革と組織体制強化
  - (施策2) 業務改善によるサービス向上
  - (施策3) 持続可能な財政運営と財産（資産）の適正管理
  
- 3. 広域拠点・連携プロジェクト ..... 25
  - (施策1) 拠点機能の強化
  - (施策2) 移住・定住の促進
  - (施策3) 広域連携の推進

### 戦略の概要

少子化による人口減少に対応していくためには、結婚、出産、子育てといったライフステージの各段階において、次世代育成の支援を強化するとともに、次代を担う子どもたちの教育環境の充実を図ります。また、女性が活躍できる環境を整備し、地域づくりの担い手の確保を図ります。

展開する  
プロジェクト

1. 子育て・教育プロジェクト
2. 女性活躍プロジェクト

### 1. 子育て・教育プロジェクト

#### ■ 現状と課題

当市の人口は、少子高齢化の進展や若者の転出などを背景に、平成7年度をピークに減少傾向が続いており、今後も同様に推移していくことが予想されています。

少子化の一因である未婚化や晩産化は、異性との出会いの場が不足していることが要因と考えられることから、若者の出会いづくりに対する支援を行うとともに、安心して妊娠し、子どもを産み育てることができる環境を整備する必要があります。

また、核家族化の進行や地域とのつながりの希薄化などによって、子育て世帯の孤立化が課題となっていることから、地域が一体となった子育て支援の充実が求められています。さらに、共働き夫婦の増加や働き方の変化によって、高まっていく多様な保育ニーズに対応するため、きめ細やかな保育サービスの充実が求められています。

一方、当市では、平成20年度に地域密着型教育を開始して以来、これまで実施校を拡大し、現在では市内全ての小中学校で取り組んできたところです。

社会を取り巻く環境が大きく変化していく時代にあって、引き続き地域密着型教育の推進により、確かな学力と豊かな心の育成に努めることが重要です。あわせて、郷土に対する誇りと愛着を育むことができるよう、地域理解教育の推進が求められます。

#### ■ プロジェクト指標

○出生数、合計特殊出生率、自然動態・社会動態数など

## ■ 展開する施策

### 【施策1】結婚・出産の希望をかなえる施策の充実

結婚や出産を希望する若者を支援するため、県や関係団体と連携しながら、男女の出会いの場を創出するとともに、安心して子どもを産み育てることができるよう、検診や相談体制の充実を図ります。

※参考：想定される事業

#### 【①出会う機会の創出】

- あおり出会いサポートセンター事業（県）

#### 【②出産環境の充実】

- 妊婦検診事業
- 母子保健事業（両親学級の開催）
- マタニティ健康相談事業

### 【施策2】地域と連携した子育て支援の充実

安心して子育てができるよう、地域社会が一体となって、育児相談や情報提供の充実を図るとともに、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図ります。

※参考：想定される事業

#### 【①交流の場の創出】

- 子育てサロン支援事業
- 地域子育て支援センター事業
- つどいの広場事業
- 子育て情報整備事業
- 放課後子ども教室推進事業

#### 【②保育サービスの充実】

- ファミリーサポートセンター事業
- 放課後児童健全育成事業

### 【施策3】地域に密着した教育の推進

次代を担う子どもたちの教育環境を充実させるため、地域と連携した学校教育を推進するとともに、地域の歴史や産業などに対する理解の促進を図ります。

※参考：想定される事業

#### 【①社会全体で支える教育】

- 地域密着型教育推進事業
- 教育支援ボランティア推進事業
- こども支援センター設置事業

#### 【②地域理解の促進】

- 地元企業ファンづくりプロジェクト（再掲）
- 小学生の公共施設を利用した体験学習への支援（再掲）

## 2. 女性活躍プロジェクト

### ■ 現状と課題

人口減少・少子高齢化が進行する中で、活力ある、持続可能な社会を形成していくためには、多方面から人材を確保することが求められ、特に、女性の社会参加の促進が地域の活性化につながると期待されています。

一方、性別による固定的な役割分担の意識が、未だ家庭や職場などに根強く残っていることや、仕事と生活の調和がとれた働き方ができていないことなどが、女性の社会参加の障壁となっています。

特に、職場において、結婚・出産・子育て期における継続就業や離職後の再就職に対する理解や支援が必要であり、積極的な取組が求められています。

### ■ プロジェクト指標

- 審議会等への女性の登用率、女性管理職の登用率など

### ■ 展開する施策

#### 【施策 1】 仕事と生活が調和した社会の形成

市民一人ひとりが、性別や年齢にかかわらず仕事と生活の調和がとれた豊かな暮らしを送ることができるよう、家庭・職場・地域における男女共同参画意識の醸成を図るとともに、地域社会や職場、行政運営の場などにおける女性の活躍と積極的登用を促進します。

※参考：想定される事業

#### 【①意識の醸成】

- 情報誌の発行事業
- 広報・ホームページによる情報発信事業
- 意識啓発講演会開催事業
- 教育関係者に対する啓発事業
- 附属機関等の女性委員の登用推進事業

## 【施策2】 女性の多様な働き方やキャリア形成への支援

結婚・出産・子育てなどのライフステージにおいて継続就業や離職後の再就職を促進するため、事業者への働きかけを強化するとともに、女性のキャリア・アップや就職に役立つスキル・アップ等に関する支援の充実を図ります。

※参考：想定される事業

### 【①就業機会の維持・創出】

- 商工ニュースを活用した情報発信事業
- 男女雇用機会均等法等の周知
- ポジティブ・アクション（積極的格差改善措置）実施促進事業

### 【②キャリアアップ・スキルアップ】

- 女性チャレンジ講座開催事業
- トークンカフェ開催事業
- ロールモデル紹介事業

## 戦略2 生業づくり戦略

### 戦略の概要

持続可能な地域社会の実現に向け地域経済を活性化していくため、国際経済の動向を注視しつつ、地域経済を支える物流の拠点化を図りながら、六次産業化による農水畜産物の高付加価値化、企業誘致、起業促進、多様な雇用の場の創出に積極的に取り組みます。

展開する  
プロジェクト

1. 六次産業化プロジェクト
2. 企業活性化プロジェクト
3. 雇用・起業促進プロジェクト

### 1. 六次産業化プロジェクト

#### ■ 現状と課題

当市の農水畜産業は、基幹産業として地域経済の一翼を担ってきましたが、担い手の減少により構造的な脆弱化が進んでいます。また、消費者の食に関するニーズの多様化や安全・安心志向の高まり等を背景とする産地間競争も激化する傾向にあります。

こうした中、生産者への支援を通じ農水畜産業の持続的な発展を図るとともに、当市の地域特性を踏まえた産業活性化策を促進する必要があります。

また、新規市場の開拓や地場産品の高付加価値化を通じ、産地間競争に勝ち抜く販売力の強化に取り組んでいくことが求められています。

#### ■ プロジェクト指標

○農業産出額（農畜産業及び加工農産物）（資料：農林水産省）、

※ 国の市町村別統計の算出は、平成 18 年分で終了したが、東日本大震災被災市町村に限り、平成 23 年分より当分の間算出を再開（「被災市町村別農業産出額」）

八戸港の水揚げ高（数量・金額）、水産加工品生産高（数量・金額）



## ■ 展開する施策

### 【施策 1】 生産体制の整備

持続的な農水畜産業の振興を図るため、生産者への経営支援や後継者等の人材育成を行うとともに、当市の地域特性を生かしながら、生産体制の整備を推進します。

※参考：想定される事業

#### 【①経営等支援】

- 野菜等産地生産・販売力強化事業
- 環境保全型農業普及促進事業
- 八戸地域プロジェクトの推進

#### 【②人材育成】

- 担い手総合支援事業
- 水産加工試作品等の展示試食会（県）
- 船舶乗組員養成講習会（八戸漁業指導協会との連携事業）
- 漁業後継者育成研修「賓陽（ひんよう）塾」（県）
- 浜の未来塾（県）

#### 【③環境整備】

- 畜産関連産業振興事業（再掲）
- 魚市場機能統合整備事業
- 魚市場衛生管理推進事業

### 【施策 2】 販売力の強化

産地間競争を勝ち抜くため、新規市場への販路拡大や地産地消の促進を図るとともに、地域のお業種との連携によるブランド化や六次産業化などによる高付加価値化を促進します。

※参考：想定される事業

#### 【①販路拡大】

- 物産販売促進事業
- 海外販路拡大事業（再掲）

#### 【②地産地消】

- 学校給食への県産品使用
- Buy はちのへ運動（八戸商工会議所）

#### 【③高付加価値化】

- 畜産関連産業振興事業（再掲）
- 農業新ブランド育成事業
- 南郷新規作物研究事業
- 水産物流通加工振興事業

## 2. 企業活性化プロジェクト

### ■ 現状と課題

当市は、昭和 39 年（1964 年）の新産業都市の指定以降、東北有数の産業都市として発展してきました。多様な産業集積は、雇用の確保や所得の向上など、地域経済にさまざまな波及効果をもたらしています。

全国の自治体が独自の施策を展開し、企業の海外流出もある中で、新たな企業の進出、とりわけ成長産業等の企業誘致や産業立地を行うためには、情報の受発信力と支援制度の拡充など、八戸発や八戸ならではの産業振興策について戦略的に取り組んでいく必要があります。

また、地域の経済と雇用を支える中小企業等の活性化に向けて、それぞれの創意工夫と自助努力のもと、経営基盤の強化を図ることが求められています。

一方、北東北の国際物流拠点である八戸港は、変化し続ける物流需要に対応するため、航路の拡充をはじめとした物流機能の強化が必要となっています。また、今後の経済発展が見込まれる海外市場を念頭に、地場製品の海外販路の拡大により、製造業をはじめとする地域産業の活性化を図る必要があります。

### ■ プロジェクト指標

- 製造品出荷額等、コンテナ貨物取扱量

### ■ 展開する施策

#### 【施策 1】 企業誘致の推進

新たな雇用機会の創出を図るため、企業誘致関連情報の積極的な発信や奨励金制度の充実などにより、企業誘致を推進するとともに、立地企業の高度技術を軸とした新たな産業の創出を促進します。また、受け皿となる企業立地の基盤整備を推進します。

※参考：想定される事業

#### 【①企業誘致】

- 企業誘致セミナー開催事業
- 誘致企業関連情報収集事業
- IT 産業集積促進事業
- 企業誘致情報発信事業
- トップセールス推進事業
- 成長産業立地等支援事業（再掲）
- 食品加工関連企業誘致促進事業
- 八戸市企業立地促進条例に基づく各種奨励金

#### 【②新たな産業創出】

- 粉体関連新産業創造可能性調査事業
- 成長産業立地等支援事業（再掲）

【③基盤整備の促進】

- 八戸港の飼料コンビナートの拡充の検討（再掲）
- LNG 輸入基地計画の推進
- エネルギーシステム転換支援事業

【施策 2】 中小企業等の活性化

地域経済を支える中小企業等の活性化を図るため、産学官連携の推進等による技術力の強化や、企業間連携による事業拡大を促進するとともに、経営相談の充実や資金面での支援を行います。

※参考：想定される事業

【④技術力の強化】

- 産学官共同研究開発支援事業
- 他地域連携ビジネスマッチング促進事業（再掲）

【②企業間連携の促進】

- 他地域連携ビジネスマッチング促進事業（再掲）

【③経営相談・資金支援】

- 中小企業相談所支援事業
- 中小企業振興補助金
- 中小企業特別保証制度
- 中小企業振興資金
- 経営安定化サポート資金の拡充
- 新事業活動に対する助成
- 八戸ブランド商標登録等支援制度
- 知的財産権対策支援事業

【施策 3】 貿易関連産業の振興

製造業や運輸業をはじめとする地域企業の活性化を図るため、官民一体となって、八戸港のポートセールスの推進や物流基盤の強化を図るとともに、海外への地場製品の販路拡大を促進します。

※参考：想定される事業

【①ポートセールスの推進】

- ポートセールス事業

【②物流基盤の強化】

- 港湾施設整備事業（国・県）
- 八戸港の飼料コンビナートの拡充の検討（再掲）

【③海外への販路拡大】

- 海外販路拡大事業（再掲）
- 海外経済交流事業

### 3. 雇用・起業促進プロジェクト

#### ■ 現状と課題

当地域における有効求人倍率は、県内でも比較的高い水準を維持してきましたが、先行きは依然として不透明な状況にあります。また、企業が求める人材と働く人が希望する職種が合わず、求人・求職者のマッチングに結びつきにくい状況にあります。

こうした状況を改善するためには、ニーズに即したきめ細やかな雇用・就業支援が必要であり、あわせて、首都圏等からのU I Jターンへの対応も求められています。

一方、当市においてもアントレプレナー情報ステーションなどの支援拠点を通じ、起業に向けた積極的な取組が出てきていることから、市場の変化に意欲的に挑戦し、新たな分野を開拓する起業家を支援する取組の強化が必要となっています。

#### ■ プロジェクト指標

- 有効求人倍率

#### ■ 展開する施策

##### 【施策1】雇用・就業の支援

企業と求職者のマッチングを図るため、それぞれのニーズに対応した情報提供を行うとともに、企業の人材育成や求職者の職業訓練に対する支援を行います。また、首都圏等からのU I Jターンを促進します。

※参考：想定される事業

##### 【①情報提供】

- 地元企業ファンづくりプロジェクト（再掲）
- 求人情報無料ウェブサイト運営事業（再掲）
- 無料職業紹介事業（再掲）

##### 【②人材育成・職業訓練】

- 技能者養成に対する補助
- IT・テレマーケティング産業支援事業（再掲）
- フロンティア八戸職業訓練助成金制度
- 雇用奨励金交付事業

##### 【③UIJターン支援】

- 求人情報無料ウェブサイト運営事業（再掲）
- 無料職業紹介事業（再掲）

## 【施策2】 起業の促進

新たなビジネスに挑戦することができる環境を整えるため、起業に関する情報提供や相談体制の充実を図るとともに、融資等の資金面での支援を行います。

※参考：想定される事業

### 【①情報提供・相談体制】

○アントレプレナー情報ステーション事業

### 【②融資・助成】

○空き店舗活用チャレンジ融資

○中心商店街空き店舗・空き床解消事業

○八戸ポータルミュージアム事業（ものづくりスタジオ）

## 戦略3 安心づくり戦略

### 戦略の概要

様々な災害リスクから市民の生活を守るため、ハード・ソフト両面から防災力の強化を図ります。また、超高齢社会においても住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、医療体制の整備を図るとともに、地域福祉の充実に取り組みます。

展開する  
プロジェクト

1. 都市防災プロジェクト
2. 健康・福祉プロジェクト

### 1. 都市防災プロジェクト

#### ■ 現状と課題

国は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災を受けて、津波防災地域づくり法(H23)及び国土強靱化基本法(H25)の制定、並びに災害対策基本法の改正(H24、H25、H26)により、防災対策の見直しを進めています。こうした中、当市においても、市民の生命と財産、地域の暮らしを守るため、地域防災計画及び津波避難計画の改定により、防災対策の強化に取り組んでいます。

先の東日本大震災の教訓として、インフラ整備による防災対策には一定の限界があることが判明したことから、今後、想定される大規模地震・津波等の災害リスクに対しては、防災施設の整備や施設の耐震化等のハード施策のみならず、市民や事業者を巻き込んだ防災訓練の実施等のソフト施策を適切に組み合わせた対策が必要となっています。

また、市民一人ひとりが災害に対する備えの意識を持ち、自発的な防災活動が展開されるよう、自助・共助に対する意識の醸成と共助の担い手の育成が必要です。

#### ■ プロジェクト指標

- 災害時要援護者登録者数に関する指標

#### ■ 展開する施策

##### 【施策1】 防災・減災対策の強化

地震・津波・土砂災害といった様々な災害リスクをふまえ、公共施設等の耐震化を推進するとともに、津波避難施設や避難所、避難道路等の整備を推進します。また、市民等の安全かつ円滑な避難を確保できるよう、総合防災訓練の充実、備蓄や資機材の整備、関係機関との応援協定の締結など、避難体制の強化を図ります。

※参考：想定される事業

【①公共施設等の耐震化】

- 新大橋整備事業
- 公共施設の耐震化
- 大規模民間建築物の耐震化

【②避難道路等の整備】

- 多賀地区津波避難施設整備事業
- 多賀地区津波避難タワー整備事業
- 沼館地区津波避難ビル整備事業
- 屋内スケート場建設推進事業費
- 長根公園再編事業
- 館鼻公園整備事業
- 津波避難道路整備事業
- 津波避難誘導標識等設置事業

【③避難体制の強化】

- 総合防災訓練
- 防災図上訓練
- 公的備蓄の充実
- 消防団員の確保・機能強化
- 災害時応援協定の締結推進

## 【施策 2】 自助・共助による防災まちづくりの推進

地域や学校、事業所等において自助・共助の意識を醸成するため、市民向け防災研修会の開催や、小中学校等における防災教育の充実を図ります。また、自主防災組織の設立支援や地区防災訓練の促進、さらには災害時の見守り体制の充実等により、共助の主体となる地域の防災体制の強化を図ります。

※参考：想定される事業

【①自助・共助の意識の醸成】

- 防災市民研修会開催事業
- 小・中学校における防災教育（防災ノート等）

【②地域の防災体制】

- 防災士育成支援事業
- 自主防災組織育成事業
- 地区防災訓練
- 事業所が行う防災訓練への支援
- 災害時要援護者登録制度の推進

## 2. 健康・福祉プロジェクト

### ■ 現状と課題

食生活の変化や運動不足などを背景とした生活習慣病の増加、高齢化の進展による認知症の増加など、社会状況の変化に伴い、安全・安心に対する市民ニーズは多様化しています。

市民が生涯にわたり、心身ともに健康で安心して生活を送るためには、保健・医療・福祉の連携の強化を図り、サービスを必要とする市民に適時・適切に提供できる体制を構築するとともに、地域主体の取組みを促進させていく必要があります。

また、市民病院は地域の中核病院として、救急救命センターの整備や、ドクターカー及びドクターヘリの配備など、救急医療体制が強化されており、市民をはじめ圏域住民の救命救急に大きな効果を発揮しています。一方、本市においても、悪性新生物（がん）や心疾患等による死亡数の増加が続いています。

今後とも市民の生命を第一に、救急医療の一層の向上を図ることが求められています。また、死亡数の増加が続くがん等の疾病について、本市の地域医療において、より効果的な対策が求められています。

### ■ プロジェクト指標

- 健（検）診受診

### ■ 展開する施策

#### 【施策 1】 地域における健康・福祉活動の促進

地域における健康・福祉活動の促進を図るため、地域団体等と連携した健康づくり活動の促進や、地域における見守り等の体制づくりを強化するとともに、保健・医療・福祉の連携による取組を推進します。

※参考：想定される事業

##### 【①地域で行う健康づくり活動】

- 健康づくり団体活動支援事業
- 健康教室
- 元気アップ教室

##### 【②地域で行う福祉活動】

- 地域の安心安全見守り協定
- 認知症高齢者見守り事業（認知症サポーター）
- 災害時要援護者登録制度
- 地域包括ケアシステムの構築

##### 【③分野連携】

- （仮称）八戸市総合保健センター整備推進事業
- 権利擁護センター整備事業



## 【施策 2】 高度な医療環境の整備

ドクターカー・ドクターヘリ事業やAEDの普及促進などにより、市民の命を守る救急医療体制の充実を図るとともに、市民の医療ニーズをふまえ、がん医療等の高度な医療環境の整備を図ります。

※参考：想定される事業

### 【①救急医療】

- 救急医療体制整備事業（第1次～第3次）
- ドクターカー運行事業
- ドクターヘリ運航事業
- AED普及促進事業

### 【②高度化する医療ニーズへの対応】

- 県立がんセンター整備促進事業
- 緩和ケア病棟整備事業

## 戦略4 魅力づくり戦略

### 戦略の概要

市民が誇りに思う魅力あふれるまちを実現するため、国内外との交流を促進しながら、地域特性を生かした文化・スポーツの振興や豊富な地域資源を活用した観光の振興を図るとともに、中心市街地などにおいて魅力的な都市機能を整備します。

展開する  
プロジェクト

1. 文化・スポーツプロジェクト
2. 八戸ツーリズムプロジェクト
3. まちのにぎわい交流プロジェクト

### 1. 文化・スポーツプロジェクト

#### ■ 現状と課題

当市では、伝統文化から新しい文化まで、多種多様な分野で活発に繰り広げられている市民の特色ある文化活動を「多文化」と位置づけ、推進することにより地域活力の創出を図っています。また、まちづくりの各分野における横断的・総合的に解決する手法として、市民力の源となる「アート」に着目し、様々なアートプロジェクトを展開しています。

アートが持つ創造性は、福祉、教育、観光、産業、地域コミュニティ等、幅広い分野と関連づけることにより様々な効果を発揮し、地域が抱える諸問題を解決する手法として、また、まちの独自性や新たな魅力を生み出す源泉として期待されていることから、アートによるまちづくりを推進していくことが重要です。

一方、当市では、過去12回に及ぶスケート国体やアジア冬季大会などの大規模な競技会が開催され、現在、「氷都はちのへ」のシンボルとして、国内3つめとなる屋内スピードスケート場の建設を進めています。また、3季連続準優勝の高校野球やオリンピックでメダル獲得のレスリングなど、競技レベルの高いスポーツもあります。加えて、八戸スポーツ振興協議会を通じて、官民一体となって、当市を活動拠点とするサッカーやアイスホッケー、バスケットボールの地元チームを応援する活動を促進しています。

地域スポーツの競技力向上に加え、スポーツに親しむ市民の裾野が広がることにより、市民の健康保持と活力創出、スポーツによる地域の活性化が期待されます。

#### ■ プロジェクト指標

- 美術館の入館者数、地域スポーツチームのホーム戦での観客動員数、市内スケート施設の利用者数 など

## ■ 展開する施策

### 【施策1】 アートのまちづくりの推進

市民が文化活動やアートに親しむ機会の充実を図るため、特色ある伝統文化や南郷地域の農村文化、中心街の横丁、臨海部の工場群などの地域資源を活用したアートプロジェクトを推進します。

※参考：想定される事業

#### 【①アートを活用したまちづくり】

- 文化のまちづくりビジョン策定事業
- 「アートのまちづくり」の推進
- 南郷アート、工場アート
- まちなかアート空間創出事業
- 八戸ポータルミュージアム事業
- 八戸フォトシリーズ開催事業

### 【施策2】 地域スポーツの振興

市民がスポーツに親しむ環境の整備と地域スポーツの競技力向上を図るため、八戸スポーツ振興協議会や各種競技団体、大学等と連携しながら、スポーツ教室の開催や指導者の育成、地元チームの応援体制の充実などを促進します。また、「氷都はちのへ」の再生に向けて、屋内スピードスケート場の早期完成、スケート人口の底辺拡大と競技力向上、国際大会の誘致などを推進します。

※参考：想定される事業

#### 【①スポーツに親しむ環境の整備】

- 市内スポーツ施設でのスポーツ教室の開催
- 小学生の公共施設を利用した体験学習への支援（再掲）
- 八戸スポーツ振興協議会事業
- 地域スポーツチームのPR、報告会等のイベント開催、ホーム戦での無料送迎バスの運行

#### 【②競技力向上のための支援】

- 競技大会選手等派遣補助金
- トップレベルのスポーツ選手によるスポーツ教室
- 地域ジュニアサッカー強化事業
- スポーツ少年団への補助
- スポーツ推進委員の育成
- 八戸市体育協会事業（各種競技の普及・振興、大会運営）

#### 【③氷都八戸の推進】

- 屋内スケート場建設推進事業
- こどもたちがスケートに親しむ機会の創出
- トップアスリートによるスピードスケート教室の開催

## 2. 八戸ツーリズムプロジェクト

### ■ 現状と課題

当市は、平成14年（2002年）の東北新幹線八戸駅の開業を契機として、多くの観光客が訪れるようになり、その後、当市発祥のB-1グランプリでの八戸せんべい汁の活躍や種差海岸の三陸復興国立公園指定、三陸地域のジオパーク認定など、明るい話題も多く、首都圏等での知名度が向上しています。

平成28年（2016年）に控えた北海道新幹線新函館北斗駅の開業をさらなる飛躍の機会とするため、観光資源の魅力を高め、対外的にアピールし、当市のブランド力を強化する必要があります。

また、近年増加傾向にある海外からの訪問客を含め、当市を初めて訪れる観光客が、楽しくわかりやすく観光できる環境を整備し、何度も当市を訪れたくなる「おもてなし」を充実させていく必要があります。

### ■ プロジェクト指標

- 観光客入込数、八戸えんじょいカードの発行件数、ワンコインバス（日曜朝市循環バス、種差海岸遊覧バス）の売上金額 など

### ■ 展開する施策

#### 【施策1】 観光ブランドの強化

当市の観光ブランドを強化するため、観光地の施設整備などによる観光資源の充実を図るとともに、産業観光などの新たな観光ルートを開発を推進します。また、各種コンベンションや研修旅行などの誘致を推進するとともに、広域連携の活用などによる効果的な観光PRを展開します。

※参考：想定される事業

#### 【①観光資源の磨き上げ】

- 蕪島地区国立公園エントランス整備事業
- 種差海岸観光施設整備事業
- 種差海岸国立公園PR事業（トレッキング等）
- 新潮観荘建設事業
- 三陸ジオパークの推進
- 八戸三社大祭のユネスコ文化遺産登録の推進
- 是川縄文の里整備事業
- 是川縄文館特別展

#### 【②新たな観光ルートの企画開発】

- 産業観光支援事業
- 南郷ツーリズムの推進

**【③効果的な観光 PR】**

- フィールドミュージアム推進事業
- 種差海岸国立公園 PR 事業（宣伝広告）
- MICE 等誘致推進事業
- 大型客船誘致事業
- 青函圏観光都市会議推進事業
- 青森県・函館デスティネーションキャンペーン事業

**【施策 2】 おもてなしの充実**

観光客へのおもてなしを充実させるため、観光ガイドの育成、外国語表示を含めたわかりやすい案内標示の整備、多言語パンフレット等の作成、企画乗車券の発行等の便利な二次交通の充実などを図ります。

※参考：想定される事業

**【①観光ガイド育成】**

- 観光ガイド推進事業

**【②案内基盤の整備】**

- 多言語パンフレットの作成
- 多言語案内標示の整備
- 多言語ホームページの充実
- フィールドミュージアム推進事業（パンフレット作成）
- 種差海岸観光施設整備事業（案内板設置、改修）

**【③移動の利便性向上】**

- 八戸えんじょいカード
- 八戸あさぐる、まちぐる、まちタク
- 種差海岸遊覧バス～ワンコインバスうみねこ号～
- 日曜朝市循環バス～ワンコインバスいさば号～

### 3. まちのにぎわい交流プロジェクト

#### ■ 現状と課題

地方都市には、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点として、地域の活力の維持や生活機能を確保していくことが求められており、国では、地域公共交通と連携した多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりを推進しています。

そうした中、市民の通院、通学、買い物などの日常生活上不可欠な移動を確保するため、地域公共交通が果たす役割は重要になっています。当市では、広域バス路線も含めて、上限運賃の導入によるわかりやすい運賃体系や乗継機能の強化などにより利便性の向上に努めており、近年は利用者数、運送収入ともに増加傾向にあります。

人口減少・高齢化が進展する中、高齢者をはじめ、市民の移動の足を確保し、交流を促進するためには、地域公共交通の充実が益々重要になっています。

また、当市の中心市街地は、郊外型ショッピングセンターの新設や大型店の撤退などにより歩行者通行量の減少や空き店舗の増加、居住人口の減少など空洞化が進行していましたが、八戸ポータルミュージアム「はっち」の整備をはじめ、にぎわい創出に向けての官民一体となった取組により、近年衰退傾向に歯止めがかかっています。

八戸広域圏のにぎわいと交流の場となる当市の中心市街地の活性化を図り、多彩な人々が集い、多様な機能が集積する「八戸の顔」にふさわしい個性あふれるまちの実現が求められています。

#### ■ プロジェクト指標

○公共交通の利用者数、中心市街地の歩行者通行量の比較

#### ■ 展開する施策

##### 【施策 1】 交通ネットワークの充実

通院、通学、買い物等の市民の移動手段を確保するため、等間隔運行やわかりやすい運賃体系の導入などにより路線バスの利便性向上を図るとともに、圏域内外との交流を促進するため、公共交通や高速交通の拠点整備を推進します。

※参考：想定される事業

【①路線バスの利便性向上】

○八戸圏域公共交通計画推進事業

○市内幹線軸高頻度・等間隔運行事業

○交通ターミナル乗継機能強化事業

(乗継案内、乗継情報サイン見直し、方面別乗り場整備、バスパック商品開発支援)

○路線バス運賃体系再構築事業

○低床車両導入事業

【②交通拠点の整備】

- 八戸駅前広場整備事業
- （仮称）八戸西インターチェンジ建設促進事業

【施策 2】 中心市街地の活性化

中心市街地における商業やオフィス、福祉・医療、教育等の多様な機能の集積とにぎわいの創出を図るため、まちの再開発、回遊性の高い歩行空間の整備、各種イベントの開催などを推進します。

※参考：想定される事業

【①都市機能の集積】

- 三日町にぎわい拠点整備事業
- 更上閣にぎわい広場整備事業
- 八戸ブックセンター開設事業
- 長根公園再編事業
- 屋内スケート場建設推進事業
- 借上市営住宅整備事業
- 大学等機能移転支援事業

【②歩行空間の整備】

- 本八戸駅通り地区整備事業
- 都市計画道路の整備（3・5・1号沼館三日町線）
- 交通安全施設整備事業（くらしのみちゾーン）
- 長根公園周辺道路等整備事業
- 商店街魅力づくり環境整備支援事業（商店街フラワーバスケット設置）

【③にぎわい創出】

- 八戸ポータルミュージアム事業
- 美術館連携事業
- はちのへほコテン
- 市民と花のカーニバル

## 戦略5 自治体経営戦略

### 戦略の概要

人づくり・生業づくり・安心づくり・魅力づくりの4つの戦略を効果的に進めるため、市民と協働するための仕組みづくり、行財政改革の推進、広域的な拠点性の向上や近隣市町村との連携体制の整備を進めます。

展開する  
プロジェクト

1. 協働のまちづくりプロジェクト
2. 行財政改革プロジェクト
3. 広域拠点・連携プロジェクト

### 1. 協働のまちづくりプロジェクト

#### ■ 現状と課題

当市では、平成17年4月に「八戸市協働のまちづくり基本条例」を施行し、市民、事業者、行政の協働によるまちづくりを推進することにより、市民活動や地域コミュニティ活動などの市民の自主的・自発的な活動を促進するなど、元気な八戸づくりに積極的に取り組んでいます。

このような中、少子高齢化への対応や地域の安全安心の確立など、複雑化・多様化する地域課題の解決に向けて、市民と行政が協働する仕組みづくりが一層重要になっています。

また、地域コミュニティは、地域住民の生活環境や大規模災害時の助け合いなどを支える重要な役割を担っています。特に、その中心となる町内会・自治会は、核家族化や単身世帯の増加、価値観の多様化を背景とした加入率の減少により、担い手が不足するとともに、地域の課題解決力の低下が懸念されており、活動の活性化が課題となっています。

#### ■ プロジェクト指標

- 町内会加入率（第4章注目指標再掲）、行政活動ボランティアの実働数、市民活動サポートセンター登録団体数



## ■ 展開する施策

### 【施策 1】 協働の仕組みづくりの推進

市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、研修会の開催などによる理念の普及や、奨励金制度等による市民活動の促進、市民提案制度等による推進体制の整備を図ります。

※参考：想定される事業

#### 【①普及啓発】

- 協働のまちづくり研修会の開催
- 協働のまちづくりに関する職員研修の充実

#### 【②市民活動の促進】

- 「元気な八戸づくり」市民奨励金制度
- 八戸市学生まちづくり助成金制度
- ボランティア活動支援事業（再掲）
- 市民活動サポートセンターの運営

#### 【③推進体制づくり】

- 「元気な八戸づくり」市民提案制度
- 協働のまちづくり推進委員会の運営
- 協働のまちづくりに関する評価制度
- ボランティア活動支援事業（再掲）

### 【施策 2】 町内会等の振興

町内会等の活性化を図るため、八戸市連合町内会連絡協議会と連携を図りながら、ニュースレターの発行やキャンペーンの実施、各種団体との懇談などを通じ、町内会等への加入を促進するとともに、交付金制度の充実や地域リーダー等の育成などにより、活動基盤の強化を促進します。

※参考：想定される事業

#### 【①加入促進】

- 八戸市連合町内会連絡協議会支援事業（再掲）
- 町内会加入促進に向けた各種団体との連携強化事業
- 町内会広報活動奨励事業

#### 【②基盤強化】

- 町内会等振興交付金
- 八戸市連合町内会連絡協議会支援事業（再掲）
- 地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進
- 地域担当職員制度

## 2. 行財政改革プロジェクト

### ■ 現状と課題

当市では、平成7年度に「八戸市行政改革大綱」を策定し、これまで行政改革を全庁的な重要課題と位置づけ、継続して各種改革に取り組んでいます。平成26年度には、新たな組織体となる中核市への移行を行財政改革推進の好機と捉え、第6次八戸市行財政改革大綱を策定しています。

今後、当市の行財政を取り巻く状況は厳しさを増すことが予想されるなかで、将来にわたり安定的な市政運営を進めていくため、大綱に基づき、現行のサービスの量や質、実施方法等を最適な状態にすることを旨とする「行政資源の最適化」という新たな視点により、行財政改革の取組を継続して推進していくことが重要となっています。

### ■ プロジェクト指標

- 定員管理・基金残高・財政健全化指標（実質公債費比率、将来負担比率）

### ■ 展開する施策

#### 【施策1】 意識改革と組織体制強化

高度化・複雑化する市民ニーズを的確に捉え適切に対応できるよう、職員の意識改革をするとともに、常に改革・改善に取り組みながら業務を執行できるよう、職場風土を醸成し、組織体制の強化を図ります。

※参考：想定される事業

##### 【①意識改革】

- セルフカイゼン運動の推進
- 職員の育成（研修の見直し、自己啓発の推進、人事評価制度の導入等）

##### 【②組織体制の強化】

- 組織力の強化（組織・機構の見直し、職員採用試験の見直し等）
- 適正な定員管理の推進
- グループ単位での業務改善の推進

#### 【施策2】 業務改善によるサービス向上

中核市移行後の事務権限の拡大による効果の最大化を図るため、事務事業の仕組みの見直しや改善に常に取り組みながら更なる行政の効率化を追求するとともに、市民の視点に立った、より質の高い市民サービスの向上を図ります。

※参考：想定される事業

##### 【①業務改善によるサービス向上】

- マイナンバーの有効活用策の検討
- コンビニ収納業務事業
- コンビニでの住民票等交付事業
- 新うみねプラン（地球温暖化対策地方公共団体実行計画）の推進

### **【施策3】 持続可能な財政運営と財産（資産）の適正管理**

将来的に厳しい財政状況が見込まれる中で、予算配分の重点化や歳入の積極的な確保を進め、持続可能な財政運営に努めます。また、公共施設の老朽化への効果的な対応の検討や市が保有する財産（資産）を有効活用し、適正管理に努めます。

※参考：想定される事業

#### **【①持続可能な財政運営】**

- 地方公会計制度の見直しへの対応
- 予算編成の見直し
- 有料広告事業における企業提案制度の導入

#### **【②財産の適正管理】**

- 公共施設マネジメントの推進

### 3. 広域拠点・連携プロジェクト

#### ■ 現状と課題

当市では、古くから歴史的、文化的、経済的なつながりを有する地域との交流が活発であり、当市を中心に通勤・通学圏、医療圏、商圏などの生活圏が形成されています。

また、八戸地域広域市町村圏事務組合（S46～）や八戸圏域水道企業団（S61～）などの一部事務組合の設置や、三圏域連携懇談会の設置（H18～）、八戸圏域定住自立圏の形成（H21～）などにより、行政区域の枠を越えて他自治体との連携が積極的に進められています。

こうしたなかで、当市は八戸広域圏における中枢的な拠点都市として、地域経済のけん引や、医療・教育・文化等の高次の都市機能を提供することが求められています。中でも、人口減少時代を迎え圏域の活力を維持していくためには、圏域一体となって、他地域からの移住を促進することが必要となっています。

また、多様化する住民ニーズや広域化する行政課題に対応するため、これまで培ってきた他自治体との広域連携を一層推進することが求められています。

#### ■ プロジェクト指標

- 他自治体との連携施策の数

#### ■ 展開する施策

##### 【施策1】 拠点機能の強化

近隣自治体との連携において中枢的な役割を果たすため、圏域の経済成長をけん引するとともに、質の高いサービスを提供できるよう、拠点機能の強化を図ります。

※参考：想定される事業

##### 【①拠点機能の強化】

- 連携中枢都市圏の形成（再掲）

## 【施策2】 移住・定住の促進

地方圏の豊かさや特色を生かし圏域人口の集積を高めるため、八戸地域の魅力のPR・情報発信の充実を図るとともに、相談窓口の強化を行い、首都圏等からの住民の移住を促進します。

また、「選ばれる都市」・「選ばれる圏域」となるよう、当市・当圏域の情報発信力を強化し、当市のイメージアップや認知度の向上を図ります。

※参考：想定される事業

### 【①移住の促進】

- 移住交流促進事業

### 【②イメージアップ・知名度の向上】

- SNSによる市内外への情報発信
- 八戸特派大使制度の活用
- マスコットキャラクターいかずきんズの活用
- 原付オリジナルナンバープレートの導入

## 【施策3】 広域連携の推進

多様化する住民ニーズや広域化する行政課題に対応するため、近隣自治体と形成した圏域による連携の深化を図るとともに、県境を越えた広域的な地域との交流の拡充を図ります。

※参考：想定される事業

### 【①近隣自治体との連携の深化】

- 定住自立圏構想推進事業
- 連携中枢都市圏の形成（再掲）

### 【②県境を越えた地域との交流の拡充】

- 三圏域連携推進事業